

日本での交換留学生としての経験

スウェーデン、ダーラナ大学
アンダーソン・ルスラナ

日本での留学生活は、私にとって毎日が新しい発見の連続で、ここでの私の生活は、まるでおもちゃ箱の中にいる子供のようなワクワクした気持ちに満ちていました。

この数ヶ月間、大学の授業はもちろん、学外でも多くの貴重な経験をしました。十月と十一月には河口湖や山中湖を訪れ、富士山との美しい景色に感動しました。また、書道、折り紙、着物、生け花の授業や茶道などを通じて、伝統文化に触れる機会もたくさんありました。日本人の友人とは、彼らの畑で一緒に植物を植えたり、日本料理の作り方を教えてもらったりしました。合気道を習ったり、和楽器を演奏したりしたことも、素晴らしい思い出です。どの経験も新鮮で、日本の多面的な魅力を知ることができました。

学習面では、日本語の文法や漢字の難しさに直面することもありました。当初は日本人の友人と英語で話してしまうことも多かったのですが、高尾山でハイキングをした際に、現地の方々と日本語で冗談を言い合い、笑ってもらえたことが自信に繋がりました。より積極的に日本語を使おうと努めた結果、大学の授業も一度も欠席することなく出席し、試験に合格できたことは自分の自信に繋がりました。

帰国する日が近づいていますが、日本で学んだことや出会った人々との思い出は、永遠に私の心の中に残り続けるでしょう。もっと長く滞在したい気持ちもありますが、日本で過ごした充実した時間は、これからの人生の大きな糧になると確信しています。

最後になりましたが、親身に支えてくれたチューターや先生方、交流室のスタッフの方々、および日本で出会ったすべての方々に心から感謝しています。この素晴らしい経験を忘れずに、これからも日本語の勉強を続けていきたいと思えます。



富士山



嵐山の竹林